

相原みちまち推進会議第6回全体会を5月15日に開催いたしました。当日は法政大学高見教授からの話題提供とともに、地域の市民の方からの提案として発表をいただき、あわせて意見交換を行ないました。また本紙の裏面にも記載いたしましたが、東京都による町田街道の立体交差化にむけた説明会が行なわれる予定です。都市計画の手續の一環として行なわれるもので、直接皆様に計画が説明される大変貴重な機会となりますので、ぜひご参加されるようお願いいたします。

相原みちまち推進会議 第6回全体会

進行役 法政大学デザイン工学部 高見公雄 教授

話題提供

今年度は「みちづくり」、「まちづくり」、「にぎわいづくり」の3つを柱に会議を進めたいと考えています。「みちづくり」については、町田街道の立体交差化に関する説明会が東京都からあると思います。この説明会を過ぎると後は手続きに進んでいくので、皆さんには説明会の場で、意見をいつていただくことが大事になります。「まちづくり」は、個々の人がどういう建物を作るのか、必要に応じて地区計画なども考えていきたいと思ひます。「にぎわいづくり」は、お店が次々にできるようなにぎわいではないかもしれませんが、暮らしている人の姿が見える街にするためにどう街をつかっていくのか、相談できればいいと考えています。

会場からのご意見

- 道路幅で移転する商店はどこに移ればよいか考えているのか。
⇒ 地権者の方の意見を伺いながら、この会議の中でも考えていきたい。意見集約する期間を区切って考える必要がある。(町田市)
- ⇒ この地域は2回道路幅員を変更するという特殊事情を抱えている。通常と同じ対応でよいのかは気になる。市が地権者と商店の間を取り持つ情報センターの役割を果たす事は考えられないか。(高見)
- 観光マップの効果か、リュックを背負って相原駅に集まる人をよく目にする。にぎわいづくりのためにそういう人をもっと呼び込めるようにするべきではないか。
- 都が説明会を開いてくれるというが、どこまで意見を吸い上げてくれるのだろうか。時間ももうあまりない。
⇒ 歩行者の横断を容易にする施設などの必要性を訴えるのはその場しかない。ただ都市計画変更ができて、事業認可や用地買収など、アンダーパスが完成するにはまだ時間がかかる。一方で西口駅前広場や広場に繋がる道路ができると、地域の皆さんのまちづくりの気運が高まってくると思われるので、まちづくり活動としてはその時期が重要ではないかと考えている。(高見)
- 計画していた道路幅員を18mから32mに広げるのはなぜか。元々32mないとできなかったのではないか。
- 町田街道沿道のお店はどうなるのか。行政が移転先を決めるべきなのではないか。
⇒ 行政は手助けをできるかもしれないが、移転先の決定等は約束できるものではない。(高見)
- 移転はどうするのがいいか、地域で考えた上で進めるべき。地権者の人が土地を有効に活用したいと思ってくれないと移転先も確保できない。
⇒ 23区内で幹線道路を整備した地区(右写真)だが敷地が削られた為、三角形の建物を建てている。相原では行政と市民が相談できる会議を用意してもらっている。地権者の方と相談して、写真のようにならないようにしていきたい。(高見)
- すぐ立体化や広場の話になるが、歩きやすい街づくりなども議論したい。
⇒ みちづくり、まちづくり、にぎわいづくりといった分科会に分けて議論していくのもよいと考えている。(高見)

2012年度のみちまち推進会議

みちづくり(大戸踏切立体化、駅前広場、関連道路)

まちづくり(街区開発一建物建設)

賑わいづくり(いろいろな活動、快適な場所、商業などの賑わい)



(地域の方からのご提案に関する意見)

地域の方からは、鉄道を移設・嵩上することで町田街道のアンダーパスを短くする案、西口駅前広場内に駐車場を設ける案について発表いただきました。以下はその発表に関する会場の皆様からのご意見です。

- 鉄道を嵩上する場合、建物を撤去する必要がないのでしょうか。
 - ⇒ 鉄道東側の建物がない土地を主に使いますが、境川付近の建物は撤去する必要があります。
 - ⇒ 鉄道を移設する際に駅舎を撤去する必要があるのではないか。(高見)
 - ⇒ 駅舎の一部を移設する必要がある。
- 今の駅舎は、駅近傍の人だけでなく、より広い範囲の地域の人々の要望を受けて町田市が負担して整備したものであり、軽々に壊すことは難しいのではないかと。
- 鉄道を嵩上して壁ができると今以上に東西を分断してしまう。人に優しい渡りやすい工夫をするべき。
- 鉄道を移設する話を今から議論するのはもう難しい。アンダーパスの整備が目前に迫っているので、アンダーパスが作られる前提で考えなければいけない。その上でまちづくりをどう考えるかが大事ではないか。
- 駅前広場に、乗降場はある程度つくってほしい。乗降場以外の場所にはガードレールが設置され、上手く乗り降りできない駅前広場も多い。
 - ⇒ ガードレールも安全性のためではあるが、切れ目を多く設けるなど工夫をすべき。(高見)
- 活性化のために駅前広場に駐車場が必要というが、商店の人がどこに移りたいか、どこなら私達は利用するのかをまず考えないといけない。いきなり駐車場をつくらうというのはやや拙速ではないか。
- 駅前広場の乗降は今でも不便はないが、降雨時など混むこともある。駐車時間などを計測してはどうか。
 - ⇒ 先日実際に計測したところ、朝7時台が最高で88台/時間、電車1本あたり9-10台が乗り入れている。また夜は20時台が最大で33台/時間、停車時間もほぼ4-5分の車が多かった。このようなデータからも、乗降スペースはともかく、駐車場までは駅前広場には不要ではないかと考えられる。(高見)
- 駅前に駐車場があるのはイメージもよくない。また車道はかなり広くなるので必要ない。むしろ広場には人が集まれる場所をつくり、駐車場は様子を見て必要であれば周辺につくるほうがよい。
- 今の駅前広場の計画では、駅舎脇からエレベータに向う場所が幅1m程度しかなく、車椅子の人などが使いにくい。そういうところを大事に考えてほしい。



■お知らせ

みちまち推進会議でも話題に上りました、町田街道及び周辺道路の都市計画変更に関する説明会の日程が決まりましたので、お伝えいたします。

都市計画変更素案説明会のお知らせ

町田都市計画道路3・3・36号相原鶴間線、町田都市計画道路3・4・48号相原駅南線

開催日時・会場 6月22日(金曜日) 午後7時～午後8時30分
町田市立相原小学校 体育館(町田市相原町1673)
6月23日(土曜日) 午後7時～午後8時30分
町田市立堺中学校 体育館(町田市相原町752)

お問い合わせ先 東京都 都市整備局 都市基盤部街路計画課 町田市 都市づくり部都市政策課
電話：03-5388-3293 (ダイヤルイン) 電話：042-709-0564 (ダイヤルイン)
東京都 建設局 道路建設部計画課
電話：03-5320-5357 (ダイヤルイン)